

Our DNA

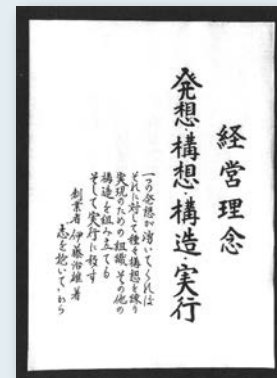
挑戦するDNA、進化を後押しする価値観

ダイセキは、挑戦するDNAと「発想・構想・構造・実行」の経営理念に裏打ちされた「知恵と工夫と行動力」で変革を続けてきました。

≫ ダイセキの経営理念

「発想・構想・構造・実行」

「一つの発想が湧いてくれば、
それに対して種々構想を練り、
実現のための組織、
その他の構造を組み立てる。
そして実行に移す」



ダイセキにとって経営理念はイノベーションの源泉として重要なものです。

創業者である伊藤治雄は、戦前・戦後の社会変化を捉えてビジネスを発展させてきました。

事業転換による挫折と成功の実体験から生まれた「発想・構想・構造・実行」という経営理念は、ダイセキの経営や事業展開の根幹に据えられています。

社会変化に対応する精神は現代にも通じ、自由な発想と挑戦を促す企業風土が培われています。

≫ ダイセキグループのパーパス^{※1}

限られた資源を活かして使う



「環境を通じ社会に貢献する環境創造企業」

独自の環境技術を強みに資源循環とカーボンニュートラルを推進するとともに、

既存事業の深化と新たな事業領域への挑戦を通じて

課題解決型企業への進化を目指します。

コアバリュー^{※2}

未来をつくる 人をつくる

ダイセキは地球環境の保全と持続可能な社会の実現を使命としています。

その実現に向け、未来志向の人財を育成し、持続可能な未来を次世代へつないでいきます。

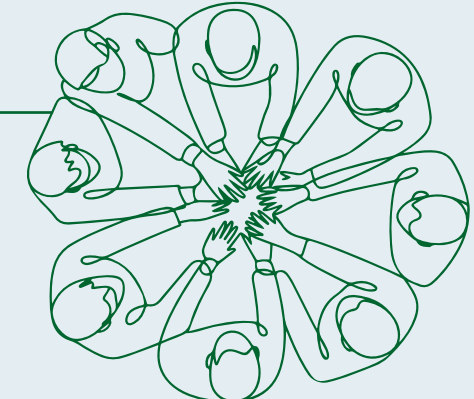
※1 パーパス: 企業が何のために存在し社会にどのような価値を提供したいのかを示す存在意義

※2 コアバリュー: 企業で働く全員が日々の仕事の中で、何を大切にどのような行動するべきかを示す、共通の価値観や行動規範

≫ ダイセキならではの価値観

「知恵と工夫と行動力」

経営理念「発想・構想・構造・実行」と
深く結びついた独自の価値観であり、
長年にわたり環境・リサイクル事業を
支えてきた原動力です。



「知恵」を働かせて本質的な解決策を見出し、「工夫」によって最適な方法を生み出します。

そして「行動力」をもって具体的に実行し、これまでも、これからも、多くのイノベーションを創出していきます。

≫ 経営戦略 3つの重点課題

「健康・安全・コンプライアンス」



一に「健康」、二に「安全」、三に「コンプライアンス」。

ダイセキ自身のサステナビリティを確立する

社会のサステナビリティに貢献するには、自分たち自身がサステナブルでなくてはなりません。

社員が「健康」で、事業が事故なく「安全」に遂行できる環境を構築し、顧客からの信頼を守り続ける
強固な「コンプライアンス」の3つが備わってこそ、社会から信頼される企業になれると考えています。

まずはこの基盤を固めて社員ひとりひとりが「家族に誇れる会社」とすることを目指します。

そのために安全管理体制の構築や法令遵守の徹底、定期的な内部監査を実施し、コンプライアンス
意識を全社員に浸透させています。この一環で、2025年5月にはダイセキグループの環境方針、
安全衛生方針、人権方針、腐敗防止方針を制定しました。

環境方針

安全衛生方針

人権方針

腐敗防止方針